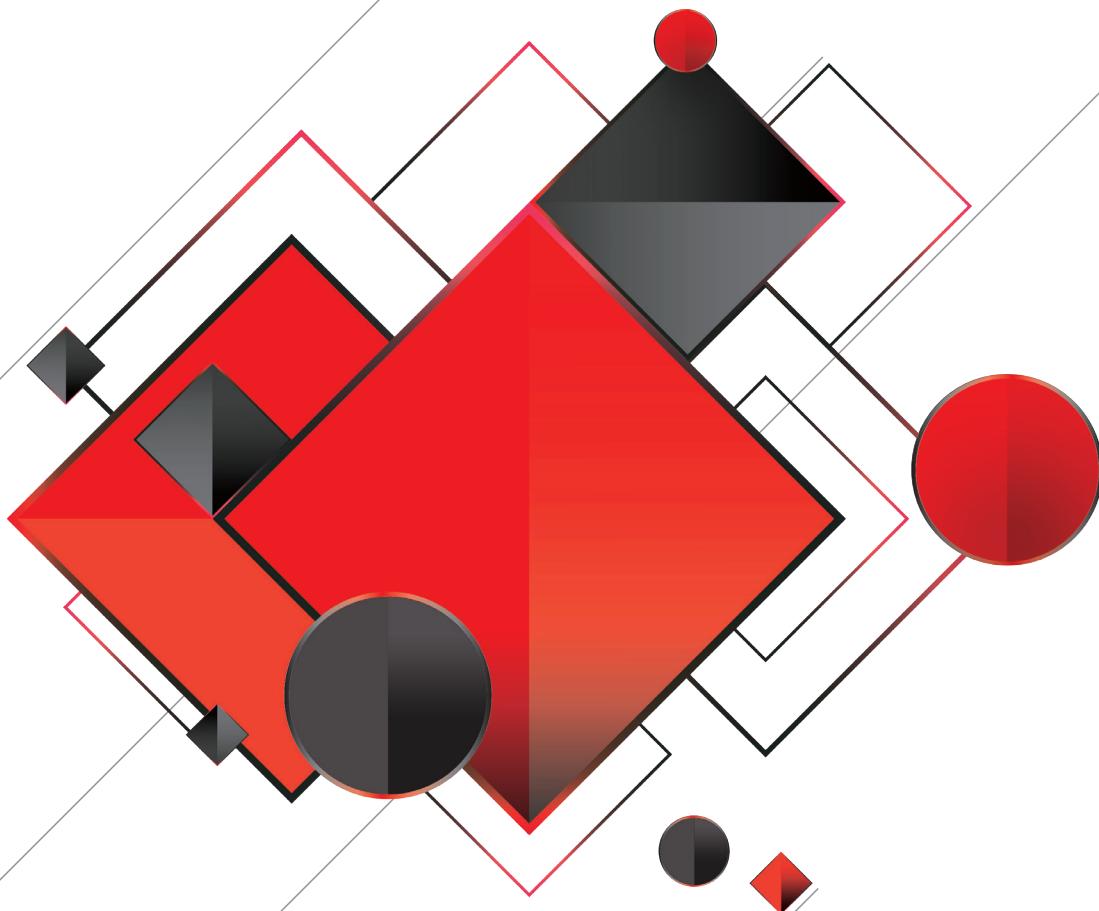


THK

第47期

中間報告書

2016年4月1日 - 2016年9月30日



経営理念

世にない新しいものを提案し、
世に新しい風を吹き込み、
豊かな社会作りに貢献する

代表取締役社長

寺町 彰博



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

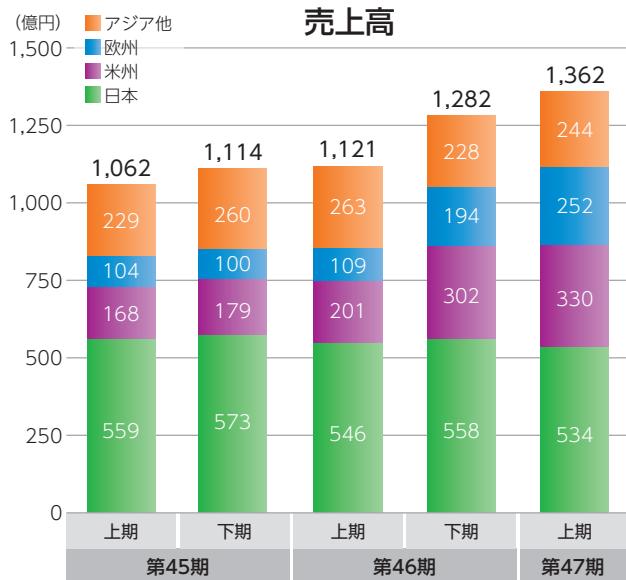
当第2四半期連結累計期間においては、中国をはじめとする新興国において経済成長の鈍化が続く一方、欧米を中心とした先進国は回復基調を保ち、世界経済は緩やかな回復が続きました。当社においては、これまで強化してきた事業体制を活かしてグローバル規模で積極的な拡販に努めました。また、輸送機器関連事業のさらなる拡大を目的として、当社グループは2015年8月31日にアメリカの自動車部品メーカーであるTRW Automotive Inc.（現在はZF Friedrichshafen AGのグループ企業）から欧州及び北米のL&S（リンケージ アンド サスペンション）事業を譲り受け、THK RHYTHM AUTOMOTIVE (TRA)として4社を連結対象としております。これらの結果、連結売上高は前年同期比21.4%増の1,362億円となりました。利益面では、各種費用の抑制や業務の効率化に努めましたが、為替が前年同期に比べて円高で推移したことなど

により、営業利益は前年同期比6.5%減の116億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比32.2%減の52億円となりました。

足元では依然として不透明な外部環境が続く一方、IoTの進展によりビジネスチャンスは拡大しております。そのような中、当社では「グローバル展開」と「新規分野への展開」、「ビジネススタイルの変革」を成長戦略の柱として事業領域のさらなる拡大を図っております。産業機器事業、輸送機器事業それぞれにおける各種施策により売上高を増加させるとともに、工場におけるロボット化・自動化の推進やIoT技術を活用したグローバル生産の見える化を通じた生産性の向上などにより収益性を向上させてまいります。これらの取り組みによりさらなる成長を成し遂げ、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト



※地域別売上高は海外売上高ベース

日本 2%減

積極的な営業活動を展開するとともに、免震・制震装置など新たな市場の開拓に努めました。これらの結果、エレクトロニクス向けの需要が増加した一方で工作機械向けの需要が減少したことなどにより、減収となりました。

欧州 130%増

製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、医療機器や航空機、ロボットなど新規分野を開拓すべく積極的な営業活動を展開しました。これらの結果、工作機械やエレクトロニクス向けなどにおいて需要が堅調に推移したことに加え、欧州地域のTRA2社を連結対象としたことなどにより、増収となりました。

米州 64%増

製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、医療機器や航空機、エネルギー関連など新規分野の開拓に努めました。これらの結果、エレクトロニクス向けの需要が堅調に推移したことに加えて、米州地域のTRA2社を連結対象としたことなどにより、増収となりました。

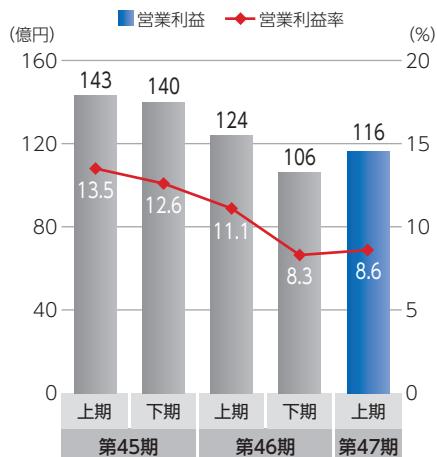
アジア他 7%減

中国やASEANを中心にこれまで拡充してきた販売網を活かし積極的な営業活動を展開しましたが、一部地域で中国の経済成長の鈍化の影響を受けたことなどにより、減収となりました。

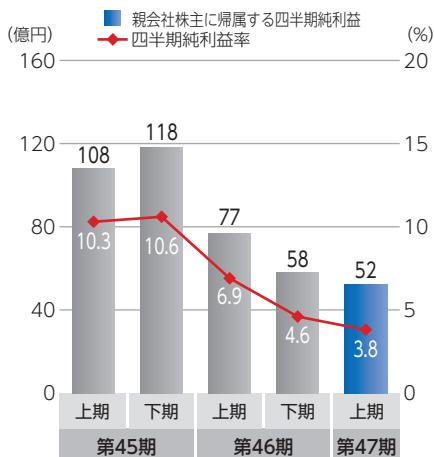
※各地域の増減率は前年同期比

※欧州、米州の増収は主にTRAの連結による

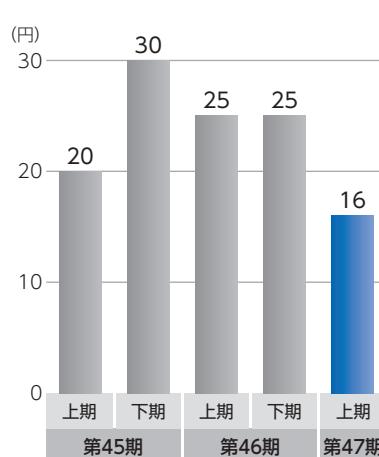
営業利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



配当金



今後の主な取り組み

産業機器事業

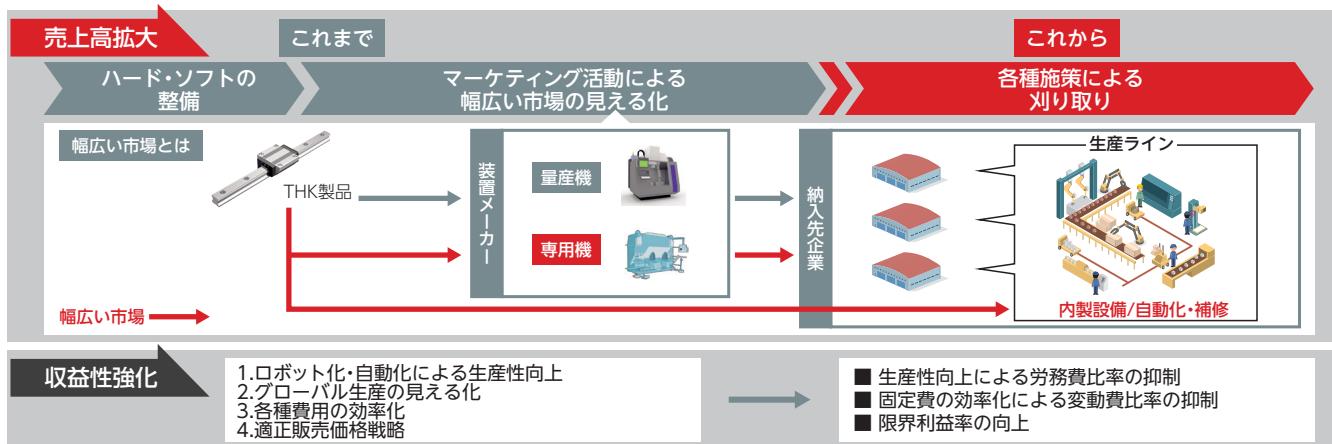
産業機器事業では、グローバルで販売体制の強化と生産体制の構築を進めるとともに、マーケティング機能の強化に取り組んでおります。

マーケティング機能の強化では、これまでのマーケティング活動により、工作機械や半導体製造装置などの装置メーカーが生産する量産機の他に、それらの装置メーカーが生産するオーダーメイドの専用機や、機械装置を実際に使用するお客様の内製設備、自動化関連設備、補修品といった「幅広い市場」が見

えてきました。これらは量産機と比較して高い利益率が期待できる市場です。今後はそのような幅広い市場を着実に刈り取るべく、各種施策に取り組んでまいります。

これらの売上高拡大に向けた施策に加えて、生産工程のロボット化、自動化やIoT技術の活用によるグローバル生産の見える化などにより生産性を向上させ、収益性強化にも努めてまいります。

産業機器事業における売上高拡大と収益性強化に向けた取り組み



産業機器事業 (その他)

THKは、産業機器分野で培ってきた直動システムのコア技術と蓄積されたノウハウを活かし、新規分野への展開として消費財に近い分野の開拓に努めております。THK製品の採用は様々な分野に拡がっており、これらの膨大な可能性を顕在化させるべく、その活動を積極化させてまいります。

新規分野への取り組み



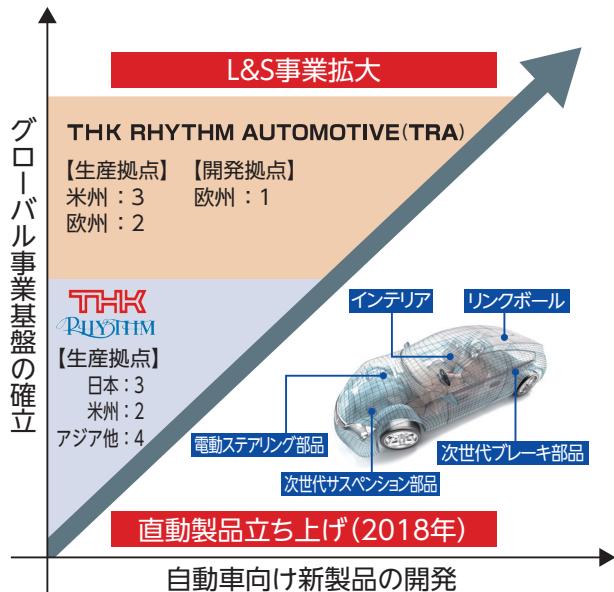
輸送機器事業

輸送機器事業では、自動車の足回り部品事業であるL&S（リンケージ アンドサスペンション）事業の拡大に努めるとともに、直動関連製品の自動車への採用拡大に取り組んでおります。L&S事業では、日本を含むアジアを中心としたTHK・THKリズムと昨年8月にグループ化した欧米に事業基盤をもつTRA（THK RHYTHM AUTOMOTIVE）のお互いの商圏を活用することによりシナジーを発揮し、L&S事業のさらなる拡大を図ってまいります。さらに、環境保全の観点から自動車の電動化が進み、自動車部品にも高いエネルギー効率が求められる中、THKの直動コア技

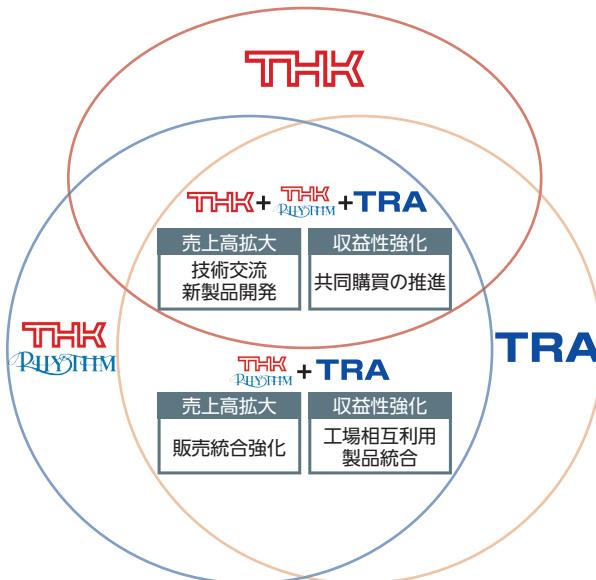
術を応用した自動車向け直動新製品の開発と提案に取り組んでまいります。

THK、THKリズム、TRAにおけるこれら売上高拡大に向けたシナジーに加え、工場の相互利用や製品統合の推進、地域ごとの共同購買の強化などによる収益性強化に向けたシナジーの発現にも努めてまいります。加えて、開発面においてもTRAのドイツの開発拠点が加わったことにより、素材や製造方法などの研究開発を輸送機器に限らずグループ全体で共有し、相互に強化を図ってまいります。

輸送機器事業における売上高拡大に向けた取り組み



輸送機器事業におけるシナジー



New Products

LMガイド 工作機械用超重荷重 NR-X/NRS-X形



「NR-X/NRS-X」は工作機械に最適なLMガイドです。工作機械での使用を想定し、大きな荷重を受けられる設計となっています。

さらに様々な防塵オプションをラインナップしており、微細粉や液体が存在する環境においても製品性能を発揮することができます。

ボールリテーナ入り高速コンパクトボールねじ SDA-V形 ラインナップ拡充

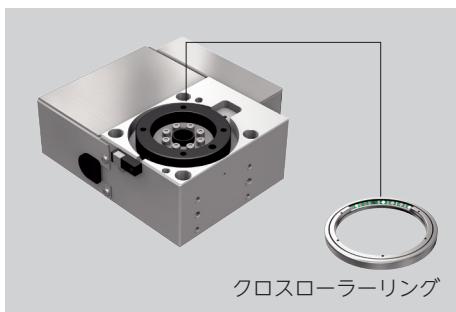


「SDA-V」はボール循環方式を改良したDIN規格対応のコンパクトかつ高速タイプのボールねじです。従来の26品目から50品目にラインナップを拡充し、お客様の幅広いご要望にお応えします。

欧州市場はDIN規格対応ボールねじが市場標準となっており、中国市場においてもDIN規格の占める割合が大きくなっています。THKはDIN規格対応ボールねじを拡充することでさらなるシェア拡大を進めてまいります。

※DIN規格とは、ドイツ規格協会が制定するドイツ工業規格(Deutsche Industrie Normen)の略称です。

電動アクチュエータ エコノミーシリーズ ET



「ET」は機械装置に最適なターンテーブルです。回転部にクロスローラーリングを採用しているため、あらゆる方向の荷重を負荷することができます。さらに薄型・軽量化を実現し、装置のコンパクト化・軽量化に貢献します。

▶ ロボットハンドTRX®「第46回機械工業デザイン賞」受賞



2016年7月に「ロボットハンドTRX®」が、日刊工業新聞社主催の「第46回機械工業デザイン賞/審査委員会特別賞」を受賞しました。

「ロボットハンドTRX®」は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)との共同研究を経て、機能や性能のほか、コスト、信頼性、使いやすさなどの製造現場のニーズにお応えすべく、その後も独自に開発を進め、当社の先端技術を凝縮して作られたロボットハンドです。

人の手の形状をシンプルに再現した3本指のリンク機構で、様々な大きさや形状の対象物を自在につかむことができます。

※機械工業デザイン賞とは、機械分野の製品の中で、優れた機能美と性能を併せ持つものを、外部の有識者による審査委員会が選定して表彰する制度です。



▶ THK(常州)精工有限公司 本格稼働開始

2016年7月に中国において6番目の工場となるTHK(常州)精工有限公司が本格的に稼働を開始しました。

当拠点では、中国国内における当社の生産拠点の自動化装置の製造、工作機械の修理・改良を行っております。加えて、お客様向けの部品の製造だけでなく、お客様の要求に応じてカスタマイズした精密複合製品の製造および販売を行っております。

近年、経済成長が減速している中国ですが、今後の景気回復に伴う人件費の上昇などを背景に製造業の高度化が見込まれます。当拠点では、そのような中長期的に見込まれる需要の拡大を取り込んでまいります。

工場概要

工場名：THK(常州)精工有限公司
住所：No.152, Chunjiang zhong Road, Xinbei District, Changzhou 213125, China
敷地面積：54,000㎡

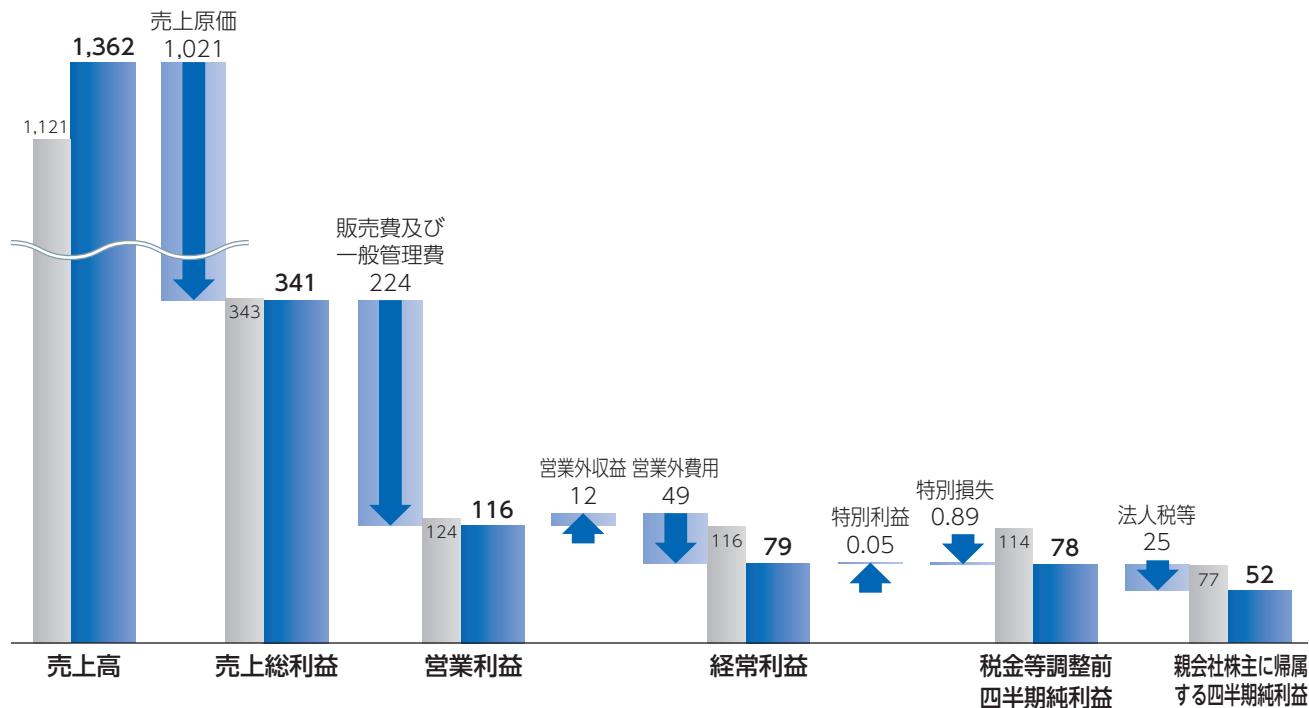


連結財務諸表 (要旨)

連結損益計算書

■ 当第2四半期累計 (2016年4月1日～2016年9月30日)
 ■ 前第2四半期累計 (2015年4月1日～2015年9月30日)

(単位：億円)



売上高

国内ではエレクトロニクス向けの需要が増加した一方で工作機械向けの需要が減少し、海外でもアジアを中心に需要は減少しましたが、THK RHYTHM AUTOMOTIVE4社を連結対象としたことなどにより、売上高は前年同期に比べて240億円 (21.4%) 増加し1,362億円となりました。

営業利益

各種費用の抑制や業務の効率化に努めましたが、為替が前年同期に比べて円高で推移したことなどにより、営業利益は前年同期に比べて8億円 (6.5%) 減少し116億円となりました。

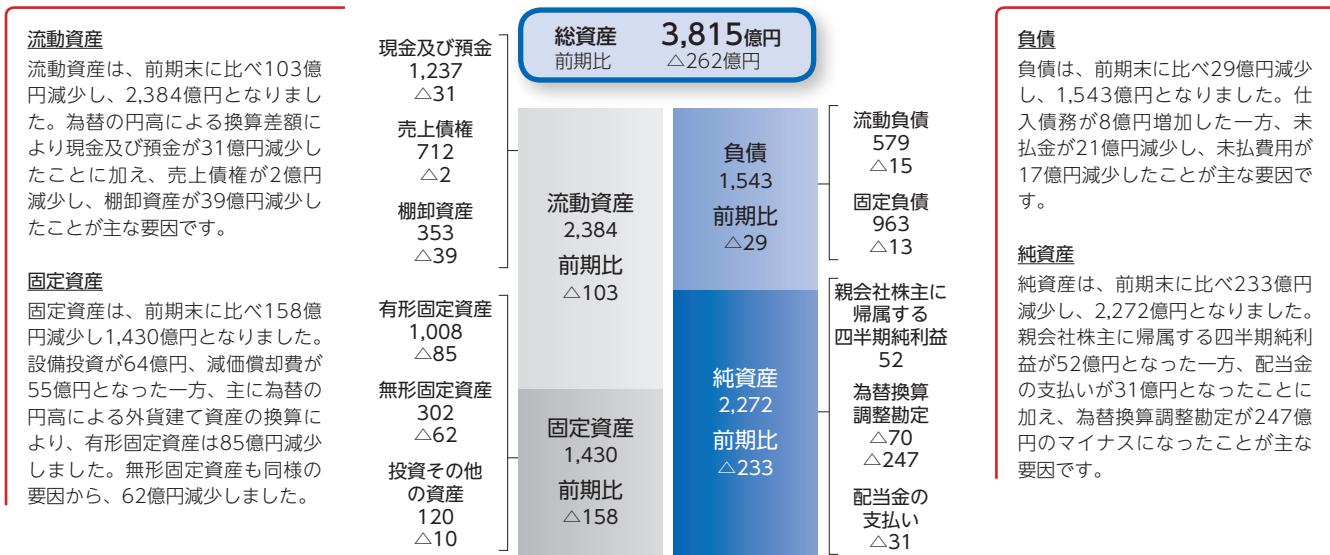
経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益

営業外損益では、営業外収益は、12億円となった一方で、営業外費用は、為替差損が45億円となったことなどにより、49億円となりました。これらの結果、経常利益は前年同期に比べて37億円 (32.4%) 減少し79億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べて24億円 (32.2%) 減少し52億円となりました。

■連結貸借対照表

当第2四半期末 (2016年9月30日現在)

(単位：億円)



負債

負債は、前期末に比べ29億円減少し、1,543億円となりました。仕入債務が8億円増加した一方、未払金が21億円減少し、未払費用が17億円減少したことが主な要因です。

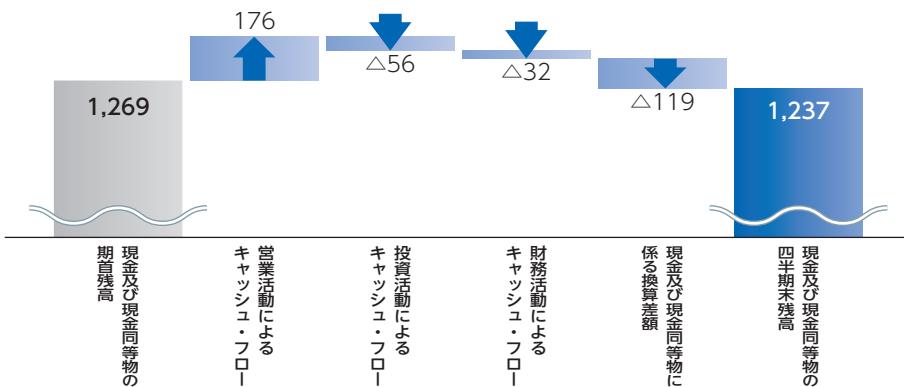
純資産

純資産は、前期末に比べ233億円減少し、2,272億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益が52億円となった一方、配当金の支払いが31億円となったことに加え、為替換算調整勘定が247億円のマイナスになったことが主な要因です。

■連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期累計 (2016年4月1日～2016年9月30日)

(単位：億円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益78億円、減価償却費67億円、為替差損53億円、売上債権の増加44億円、仕入債務の増加41億円、法人税等の支払額28億円などにより、176億円のキャッシュ・インとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主に固定資産の取得により、56億円のキャッシュ・アウトとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

主に配当金の支払いにより、32億円のキャッシュ・アウトとなりました。

そのほか、換算差額により、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて31億円減少し、1,237億円となりました。

コーポレートガバナンス体制

当社グループは、「世にない新しいものを提案し、世に新しい風を吹き込み、豊かな社会作りに貢献する」との経営理念に基づき、「企業価値の最大化」の観点から、株主様を含む全てのステークホルダーの皆様との適切な協働を通じて持続的に成長することにより、中長期的な企業価値の向上を目指し、コーポレートガバナンスの充実に取り組んでおります。

当社グループは、コーポレートガバナンスのさらなる充実を目的として、2014年6月より執行役員制度を導入し

ております。加えて、2016年6月18日開催の第46期定時株主総会后、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へと移行するとともに、取締役会の諮問機関として任意の指名諮問委員会および報酬諮問委員会を設置しました。

これにより、経営に関する透明性、客観性を高めるとともに、取締役会の監督機能の強化と経営に関する意思決定および業務執行の迅速化、効率化を図ることができるものと考えております。

POINT

▶ 監査等委員会設置会社へ移行

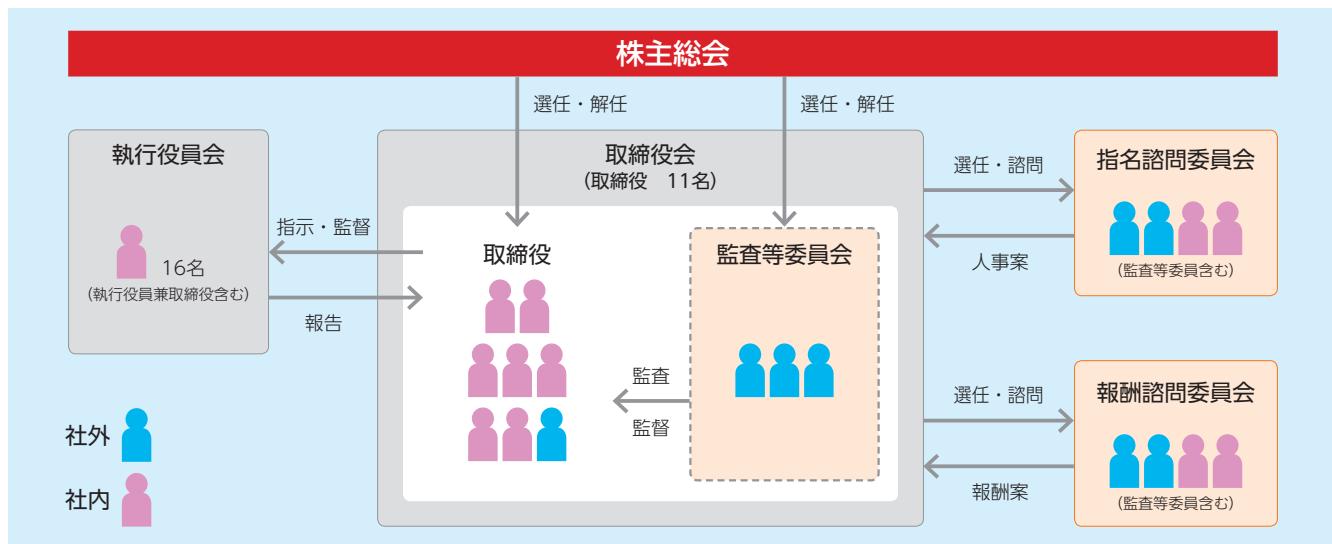
- ・ 監査・監督を担う監査等委員会の構成員である社外取締役が取締役会において議決権を行使
- ・ 内部統制システムを利用して取締役および執行役員等の職務執行の状況について監査、監督を実施

▶ 指名諮問委員会および報酬諮問委員会の設置

- ・ さらなる透明性および公平性を確保するため、半数を社外取締役で構成
- ・ 取締役会の諮問機関として、各委員会にて取締役の候補者案や報酬案について検討、審議し、その内容を取締役会で審議、決議

▶ 執行役員制度を導入

- ・ 取締役会による経営監督機能の向上を図り、業務執行に関する役割と責任を明確化するとともに、業務執行を迅速化



会社の概要 (2016年9月30日現在)

■会社概要

商号	THK株式会社 (THK CO., LTD.)
所在地	東京都品川区西五反田三丁目11番6号
設立	1971年 (昭和46年) 4月10日
資本金	34,606百万円
従業員数	3,469名 (THKグループ11,819名)
事業内容	産業用ロボット、NC工作機械、各種半導体製造装置等の産業用機械の高精度化、省力化、高速化を実現する「直動システム」の製造販売、並びに自動車等の輸送用機器部品の製造販売
ホームページ	http://www.thk.com/
会計監査人	太陽有限責任監査法人

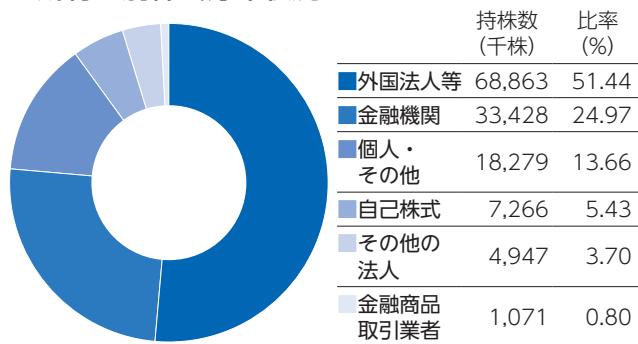
■役員

代表取締役社長	寺町彰博
取締役副社長	寺町俊博
取締役副社長	今野宏
取締役兼専務執行役員	榎信之
取締役兼専務執行役員	寺町崇史
取締役兼常務執行役員	下牧純二
取締役	坂井淳一
取締役(社外)	甲斐莊正晃
取締役(社外)監査等委員	日置政克
取締役(社外)監査等委員	大村富俊
取締役(社外)監査等委員	上田良樹

■株式情報

発行可能株式総数	465,877,700株
発行済株式総数	133,856,903株
株主数	19,552名

■所有者別株式分布状況



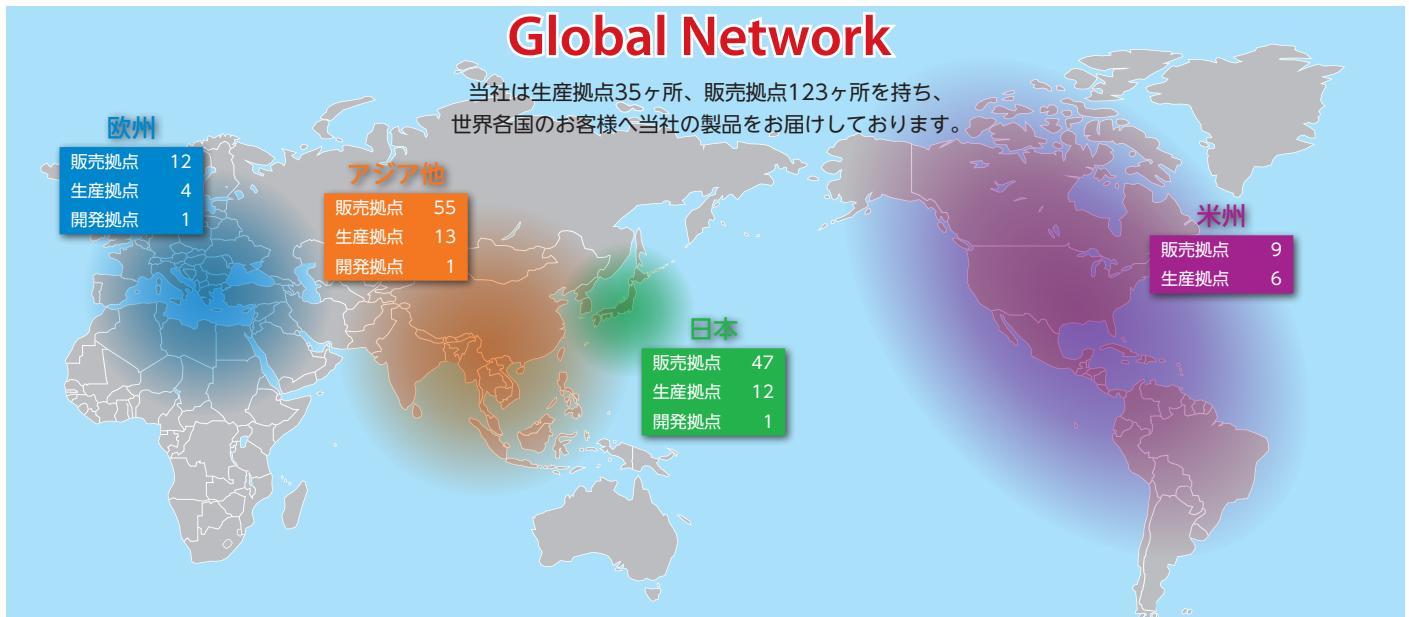
■大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,678	6.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,872	3.63
JP MORGAN CHASE BANK 385632	4,551	3.40
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE THE KILTEARN GLOBAL EQUITY FUND	4,341	3.24
寺町 彰博	3,647	2.72
エフティシー株式会社	2,774	2.07
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE - SSD00	2,397	1.79
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1,845	1.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	1,770	1.32
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	1,679	1.25

※上記のほか、当社が所有している自己株式7,266千株(5.42%)があります。

Global Network

当社は生産拠点35ヶ所、販売拠点123ヶ所を持ち、世界各国のお客様へ当社の製品をお届けしております。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
株主確定日	株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6481
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 http://www.thk.com/jp/ir/

株式に関する お手続きのご案内	<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 特別口座に記録された株式のお問い合わせ ● 株式事務に関する一般的なお知らせ 	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料) ※手続き書類のご請求は以下の方法でも承っております。 Tel. 0120-244-479 (24時間自動音声応答、通話料無料) http://www.tr.mufj.jp/daikou/ からのダウンロード
	● 上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

IR情報ページ「個人投資家の皆様へ」のご紹介

当社Webサイト内IR情報ページには、個人投資家の皆様に深く当社をご理解頂くための情報をまとめたコンテンツ「個人投資家の皆様へ」を設置しています。当社の強みや成長戦略などを分かりやすくご紹介していますので、是非ご活用ください。

IR情報ページ <http://www.thk.com/jp/ir/>



THK株式会社



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

